

<報道発表資料>

.....
カテゴリー：お知らせ

令和5年3月14日

養液いちご研究会が知事を表敬訪問しました

養液いちご研究会が大野知事を表敬訪問し、研究会の活動報告や会員が生産した県オリジナル品種「あまりん」「かおりん」のPRを行いました。知事は、「埼玉県のいちごのおいしさを、色々な形で日本中に広めていきたい。」とコメントしました。

● 概要

- ・ 養液いちご研究会は、平成17年にいちご農家有志7人で栽培の勉強を開始。現在は100名を超える会員数となり、栽培技術の向上に努めています。
- ・ 特に県オリジナル品種「あまりん」「かおりん」の育成・栽培に当たっては、試作段階から県に協力するとともに、その栽培技術やブランド価値の向上に尽力しています。

<長谷川裕晃（ひろあき）会長のコメント>

- ・ 研究会で栽培データを蓄積し努力してきたことで、かなり美味しいものが作れるようになってきた。いちご狩りでは「あまりん」が真っ先に無くなってしまふほど人気である。洋菓子店からも「あまりん」のみのスイーツを作りたいという要望も多い。
- ・ お客様は、「あまりん」「かおりん」を求めて買いに来てくださる。「べにたま」も試作しているが、とても有望である。いい品種を立て続けに出してもらえてありがたい。
- ・ 今後も、県と連携して埼玉のいちごを盛り上げていきたい。

<大野知事のコメント>

- ・ 県育成の3品種が生産者の皆様に高い評価をいただいていることは、とても嬉しいことである。
- ・ 先日、日本野菜ソムリエ協会から「プレミアムいちご県」の認定もいただいた。私は、埼玉県はおいしいいちごを作る県であるとずっと言ってきたが、それを認めてもらった。
- ・ 今後、埼玉県のいちごのおいしさを、色々な形で日本中に広めていきたい。そのためのお力添えをお願いしたい。

